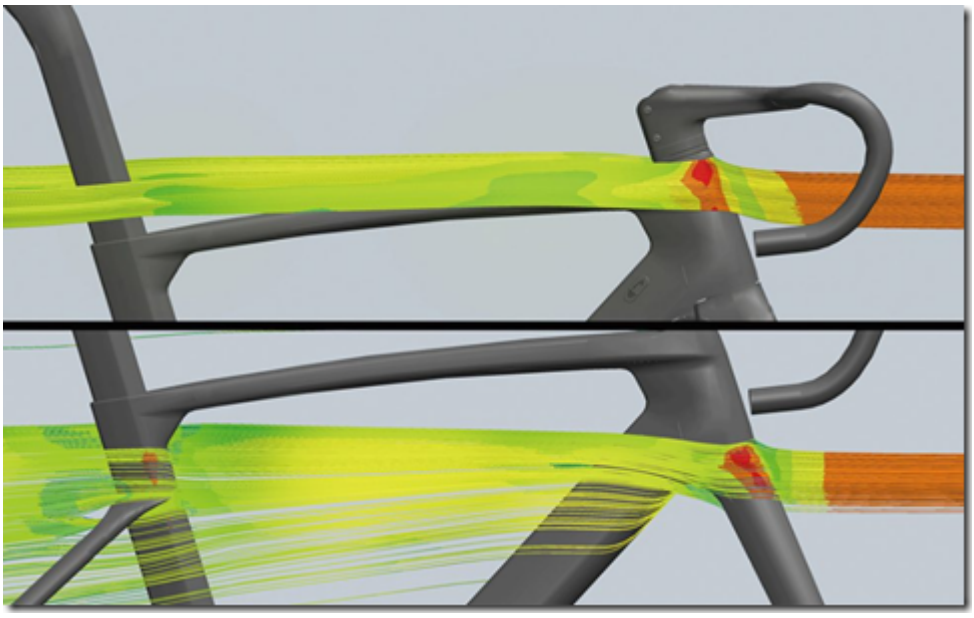
Winspaceのカーボンフレームってどうよ？



安くカッコイイフレームのバイクを買いたいけど、

怪しくて安っぽい感じのバイクは外したい！！

自分の主観ですが、一般的なユーザーはフレーム性能の違いを

見分けることは難しいと思っています。

ロードバイク雑誌のインプレッションで

「踏めば進むフレーム」

「剛性があるが、適度なしなりもある」

という文句を良く目にしますが、これは

分からない、と言っているのと同じです。

フレーム各パーツを組み付けるベースになっているもので、

人が接触するところと地面と接するところの違いが
一番大きいと自分は考えます。あとは軽さ。
前置きが長くなってしまいましたが、
今回は、目にする機会が多い台湾ブランド（中華カーボン）の
バイク（UCI認証）を斜めな見方で３回シリーズでご紹介します。



このシールが、１枚５４万円！？
https://bikenewsmag.com/2019/11/25/what-uci-sticker-is/目にする機会が多いということは、売れていると錯覚しますが、
広告費を使って宣伝しているメーカーと言えるかもしれませんね。
第１回目にご紹介するのは・・・

Winspace

中国や台湾のメーカーかと思いきや、日本が発祥のメーカー。
公式ページによると「発祥」と書いてあります。

発祥

ということは、今は違うということ？

さらに製造場所の明記がありません。

中国か、台湾（深セン）か、このアタリになるでしょうけど、

まだまだブランディングにおいて「中国」というキーワードは

脚を引っ張る要素として使いたくないようです。

あなたのイタリアやアメリカのバイクメーカーのフレーム、

ほとんどがメイドインチャイナが多いはず。

さて、このウィンスペース。

２０２１年にプロサイクリングチームのスパークル大分で

使われているのが有名ですね。

新興チームながら、好成績で注目されている方も多いのではないでしょうか。

WinspaceでUCI認証を受けているのが、



このＴ１５００フレームセットです。

お値段は、税込みで約２６万円。

中華カーボンといいつつ、有名メーカーのエントリーから

ミドルグレードのフレームセットくらいのお値段ですね。

フレーム重量は、1050 +/- 30g（Ｍ）

有名メーカーのハイエンドバイクだとこの価格の２倍以上しますから、

チームのお財布事情とマッチしたのかもしれませんね。

スパークル大分の活躍をみていると、バイクの値段がレースを

左右することはないと言えますし、このチームを応援したくなります。

また、サイズ展開が豊富で、ＸＳサイズからＸＬサイズまで

ＸＳは、トップチューブの長さが５００mmなので、身長が１５５ｃｍ

くらいの方にぴったりではないでしょうか。自分もＸＳがいいな。

https://www.winspacejp.cc/

Winspaceのリンク集

Winspaceのロードバイク頑丈すぎんか? pic.twitter.com/yaSn3gAvYU
— VENGE Potato (@SWkVnGptt) November 26, 2021

TTバイク専門だった店長まつもとが、およそ10年ぶりとなるロードバイク「ウィンスペース」のバラ完に挑戦！！https://t.co/0g5Y3NNuhT#winspace #lunhyper #ultegra pic.twitter.com/NIAZ7QYlo0

— WORLDCYCLE (@WORLDCYCLE_BLOG) February 4, 2022

どうですか？
ウィンスペースほしくなりましたか？

金銭感覚が麻痺しているというか、そういう方々は、
通勤用のバイクとして、手軽に乗れる足として
１０５なんかで組んでみるのも良いかもしれませんね。

自分なら、今度出る１０５Ｄｉ２をこの

Ｔ１５００で組んでみたいなぁと思ったりしてます！

次回は、ELVESをご紹介します！